

## ワークショップ「25年後の知識社会をどう創る？」 - 参加とご協力をお願い -

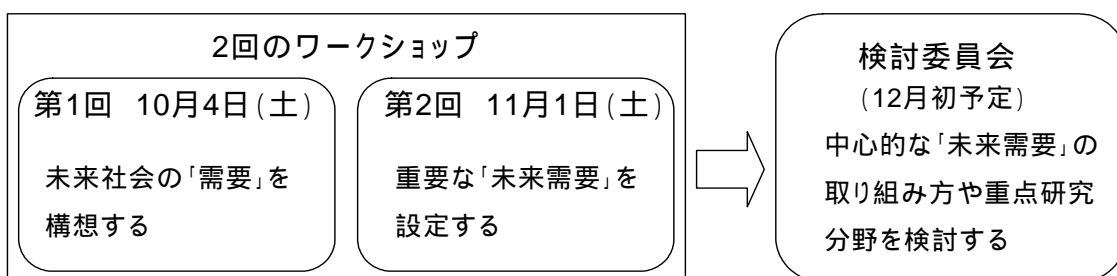
「需要」側からの科学技術政策の展開 研究チーム  
研究代表者：丹羽富士雄 政策研究大学院大学教授  
実施機関：財団法人政策科学研究所

### ワークショップの概要

本ワークショップは、「未来の社会需要を基に科学技術を考える」試行研究として実施します。これまでの科学技術政策では、科学技術を振興し、その成果で何が可能になるかを考えてきました。この試行研究では、まず社会が必要とする未来需要を構想し、科学技術ではどのように取り組むかを考えようとしています。このような試みは、すでにいくつかの国で導入されています。

今回の試行研究では「知識社会」を対象にします。すなわち、25年後の知識社会のあるべき姿を構想し、その実現に向けての課題を想定し、科学技術による解決策を検討します。ここでは「知識社会」を、社会の様々な分野において、知恵、知識、情報、データなどが量的・質的に重要な基盤となる社会としています。したがって、主に、知識の生産、流通、伝達、蓄積などの在り方や、社会の多様な局面での知識利用の在り方、に関わる未来需要が検討対象となります。ワークショップには、科学技術研究、行政、産業、NPOなどの分野から幅広く参加を求めます。

### ワークショップの流れ



\* プロセス全体はインターネットを通じて運営/情報面で補完・支援されます。

### 参加と支援のお願い

ワークショップの実施にあたり、未来社会に関して広く創造的に議論のできる方のご参加・ご協力をお願いします。

#### 1. 討論参加者

- ・知識社会を支える重要な知識の生産、流通、伝達、蓄積や利用システムに関わる専門家
- ・社会的な問題の解決や意思決定に関わっている方、医療、教育など社会の重要な領域に関して知識の在り方や利用の仕方に関心を持っている方

#### 2. 助言者

- ・ワークショップや関連作業において、協力できる範囲で専門的な知見のご提供をいただける方

参加者・助言者としてご協力いただきたいと存じます。また、適切と思われる方をご紹介いただければ幸いです。